

令和 8 年(2026年) 7 月21日

報道機関各位

函館市消防本部警防課

行事の取材依頼について
このことについて、下記のとおり実施しますので、取材方よろしくお願いします。
記

行 事 名	第 7 回緊急消防援助隊全国合同訓練 図上訓練
日 時	令和 8 年 7 月 3 0 日（木） 8：30～17：00 （実訓練時間は、9：00～16：00。上記時間には、訓練説明および振り返りを含む）
場 所	函館市消防本部 5階防災多目的ホール（函館市東雲町 5－9）
内 容	総務省消防庁では、緊急消防援助隊の技術の向上および関係機関との連携活動能力の向上を図ることを目的に、概ね 5 年ごとに全国の緊急消防援助隊が一堂に集結して行う全国合同訓練（図上・実動）を実施している。 第 7 回目となる今回の訓練は、「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震」を想定し、訓練をブラインド型で実施するもの。 今回の図上訓練は、上記日時において、総務省消防庁・北海道・青森県・岩手県・宮城県で一斉に開催されるもので、北海道は、北海道庁・北海道防災航空室・函館市消防本部・苫小牧市消防本部・釧路市消防本部が訓練会場となっている。
そ の 他	○図上訓練当日の取材対応可能時間について 訓練進行の都合上、報道対応者による取材対応時間は、「12:00～12:30」および「訓練終了後～約30分」とさせていただきますので、ご了承ください。 ○事前取材対応について 本訓練に関する内容で、事前に取材希望がある場合は、函館市消防本部警防課にお問い合わせください。

〔 函館市消防本部警防課 22－2146 〕

1 目的

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震における緊急消防援助隊アクションプランに基づく初動対応，早期の被害状況の把握，消防・自衛隊・警察・海上保安庁等の関係機関との活動方針の調整等を実践し，日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震への対応能力の向上を図る。

2 想定

1月31日9時頃，岩手県沖を震源とするM9クラスの地震が発生し，宮城県で最大震度6強を観測。北海道及び東北地方の太平洋沿岸部を中心に火災，建物倒壊，津波浸水等の複合的な災害が多発したことにより，人的被害が広範囲に多数発生した想定とする。

3 参加機関（函館市消防本部会場関係分）

総務省消防庁，北海道，北海道防災航空室，札幌市消防局，さいたま市消防局，長万部町消防本部，森町消防本部，八雲町消防本部，南渡島消防事務組合消防本部，渡島西部広域事務組合消防本部，檜山広域行政組合消防本部，駿東伊豆消防本部，第7回緊急消防援助隊全国合同訓練北海道プロジェクトチームほか

4 参観者（函館市消防本部会場関係分）

陸上自衛隊第28普通科連隊，第一管区海上保安本部函館海上保安部，北海道警察函館方面本部，北海道警察函館方面函館中央警察署，北海道警察函館方面函館西警察署，函館市総務部災害対策課，函館市病院局市立函館病院，長万部町消防本部，森町消防本部，八雲町消防本部，南渡島消防事務組合消防本部，渡島西部広域事務組合消防本部，檜山広域行政組合消防本部，とかち広域消防局ほか

5 タイムスケジュール

時 間	内 容
8：15	訓練開始報告
8：30	訓練説明（総務省消防庁・函館市消防本部）
9：00	想定地震発生，図上訓練（第1部）開始
12：00	図上訓練（第1部）終了
13：00	図上訓練（第2部）開始 訓練進行（内容・時系列）は，第1部からの継続実施
16：00	図上訓練（第2部）終了
	訓練終了報告，訓練振り返り
17：00	訓練終了

6 その他

- (1) 訓練時間中，12：00～13：00の1時間，休憩時間を設け，この間のシナリオ進行はないものとする。

また，第2部の訓練進行（内容・時系列）については，第1部から継続して実施するものとする。

- (2) 気象警報等の発表，地震発生等により災害対応が必要となった場合，訓練の一部変更または中止にするものとする。
- (3) 実動訓練は，令和8年11月14日および15日に宮城県で，同年12月17日および18日に北海道で実施予定です。

【関連リンク】

○第7回緊急消防援助隊全国合同訓練（北海道）ポータルサイト

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/bsb/261306.html>



○総務省消防庁ホームページ「緊急消防援助隊」

<https://www.fdma.go.jp/mission/prepare/rescue/post-12.html#kinshoutai07>

